

2025～26年度 RI第2650地区

創立 昭和36年6月28日

承認 昭和36年8月 3日

勝山ロータリークラブ週報

例会日 毎週火曜日 12:30～13:30

例会場 勝山市市民交流センター

〒911-0811 福井県勝山市片瀬町1丁目402番地

TEL 0779-87-7761 FAX 0779-87-7760

URL: <https://rid2650.gr.jp/club-katsuyama>

Email: katsuyamarc@gmail.com

■会長 滝川 博則 ■幹事 辻 利津子

編集発行・文責 公共イメージ委員会

会長メッセージ

～ 縁（えにし）を継なぐ ～

第3091回 例会（8月26日）

●会長スピーチ

会長 滝川 博則

8月25日午前1時44分、南越前町を震源地とする地震があり、勝山もかなり揺れました。

私は2週間に一度勝山市立図書館に赴き、多種多様なジャンルの本や雑誌を読むのですが、ちょうど地震の前日の24日、newtonという雑誌の富士山噴火と南海トラフ地震の特集号を読み、南海トラフ地震時勝山も震度5の地震が起こるとのデータを読み怖さを感じていた直後の出来事で本当に怖かったです。

来る9月1日は防災の日です。今一度地震等災害時の準備物とか避難場所の確認などをお勧めいたします。

本日は松田ガバナー補佐様をお迎えし、9月9日小崎学ガバナー公式訪問の事前クラブ協議会です。

松田ガバナー補佐様は皆様周知の通りお隣の大野ロータリークラブさんの所属であります。

近年は同じバスにのりIMや地区大会はもちろん毎年恒例の大野勝山合同例会時に杯を交わし合う仲ではありますが、本日はガバナー補佐様のお立場でご指導、ご意見をいただけたらと存じます。

どうぞ宜しくお願い申し上げます。

●幹事報告

幹事 辻 利津子

○理事会報告、マイロータリー登録に関する資料、公式訪問の詳細スケジュールの確認をお願いします。

○第6組IM開催案内

三国RC

11月8日（土）次回例会で出席確認します。

○2025～26年度 台北国際大会説明会

○RLI委員会による宅話訪問について、プログラム委員長と理事会で協議します。

○ガバナーノミニデジグネート推薦依頼

○第54回ロータリー研究会案内及び登録について

○2026年度決議審議会への決議案募集の案内

●委員会報告

●SAA

織田 昌弘

9月の会場設営はCグループになります。

●出席報告

山内 智子

8月26日 欠席7名 68.18%

8月19日 欠席4名 82.61%

●ニコニコ報告

笠松 誠一

公式訪問よろしくお願いします

松田ガバナー補佐

ガバナー補佐をお迎えして

滝川博則・辻利津子

届出欠席

斎藤清一郎

会員のコーナー

和田 達也 会員

我が家の空飛ぶ家族

手乗り文鳥の[ぶんちゃん]です。

文鳥の寿命は、8～10年といわれていますが、ぶんちゃんは、今年で11年半になり、人間に例えると90歳以上で、とても長生きしています。

最近では羽根も抜け、足の力が弱い状態ですが、食欲もありスイカや梨などフルーツをよく食べています。

もちろん、必ず一番美味しいところをあげています。

そして、おなかがいっぱいになるとすぐ巣に入って寝ています。

今から1年半くらい前から元気がなくなり、眠ってる時間が長くなったので、小鳥専門のお医者様を探して診てもらいました。その治療が効いてか、今は元気です。一カ月に1度必ずメンテナンスを受けて、検査と治療をしてもらっています。

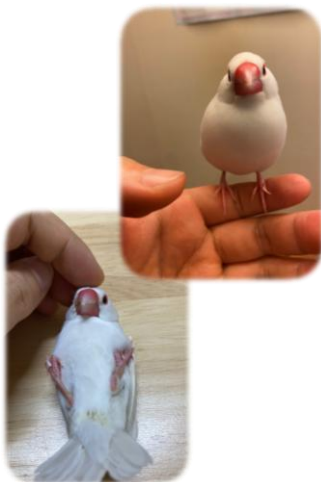
先生もこんなに長生きの手乗り文鳥は初めてとのことでした。

ぶんちゃんの生まれは豊田市です。豊田駅前にあった小鳥屋さん、インコの中に混ざっていた雛がぶんちゃんでした。文鳥が一羽だけ売残っていたので、かわいそうで買うことに決めました。

ぶんちゃんがきてくれたおかげで、大人だけの我が家が明るくなりました。

朝晩の挨拶は「ぶんちゃん、おはよう」「ぶんちゃん、おやすみ」です。

あれ？家族には挨拶...ありませんけど！？



本日 プログラム	会員卓話 飯田ひとみ会員	9月9日 プログラム	ガバナー公式訪問	9月16日 プログラム	ゲスト卓話 中村 剛 氏	9月23日 9月30日	休会
-------------	-----------------	---------------	----------	----------------	-----------------	----------------	----

ガバナー公式訪問 事前クラブ協議会



松田ガバナー補佐挨拶

福井第一グループ（福井、福井南、あじさい、フェニックス、大野、勝山）の6クラブ目の訪問。

世界、日本、地区全体での会員減少に強い危機感を表明しました。

経費高騰と円安により運営困難なクラブが増加しています。

幹事

辻 利津子

9月9日花月楼での合同公式訪問日程確認。

マイロータリー登録の要請。

S A A

織田 昌弘

有意義な例会運営。

例会のスムーズな運営、ゲスト卓話時間の最優先確保、プログラム委員との連携による進行変更検討。会員相互のコミュニケーション促進のため、机の配置を定期的に変更し、会場設営を当番制で数人で行う。

会計

山内 政司

迅速かつ的確な会計処理。現状、特別事業増加による資金不足。特別事業への積立継続、例会ごとの迅速な受け払い、ガバナー公式訪問（勝山）およびボーズマンサンライズRCへの参加者のための予算計上。資金繰りが厳しく、会費値上げ提案は却下されたため、会員の協力が必要。

会員増強

和田 耕三

23名でのスタートは会計的・組織的に厳しい。全員が危機意識を持ち、協力して会員を発掘・増強する。

公共イメージ委員会

斎藤 清一郎

ロータリー活動の広報。週報の改善として文字より写真多用、読みやすい紙面、会員全員参加の「会員のコーナー」設置。会員と協力し、楽しい紙面を作成。

クラブ管理運営委員会

久保 光子

新入会員もいるためフレッシュかつ軽やかに活動。各委員長の孤独な活動を補うためワンチームで取り組み、年3～4回程度の全体意見交換会を開催。

親睦ロータリー家族委員会

会長方針のもと、会員とその家族が親睦を深められるよう工夫し、明るく和やかなムード作りを目指す。

出席奨励委員会

例会出席の向上。出席表の管理、例会参加意識の共有、会場後方の例会出席表への丸印押印の促進。

プログラム委員会

興味を持って参加できる例会になるよう、親睦委員会と連携して計画。市内外よりゲスト卓話を招き、会員が充実した例会を送れるよう努力。会員卓話も全員に予定し、統一テーマは「人生100年時代、残りの人生をいかに生きるか」。

奉仕プロジェクト委員会（小林委員長代読：和田達也）

会員はロータリーの意味を再確認し、地域社会にはロータリークラブをアピール。

新規プロジェクトは現状では困難なため、まずは継続事業の充実を図る。

会員数が少ないため、一人当たりの仕事量が多くなるため、担当委員長任せにせず、各委員や他委員会と連携し、会長目標に沿って進める

ボーズマンサンライズRCとの交流を継続（本年は勝山から10名が渡米予定）。研修形式だが、文化・価値観の異なる人々との交流を通じて国際奉仕の展開につなげたい。

ロータリー財団

梅田 秀司

財団への関心と理解を深め、会員への寄付を促す。

一人当たり180ドルの寄付を目指す。

米山記念奨学委員会（田中委員長代読：辻幹事）

事業の理念を会員に理解してもらい、寄付金への協力を得て目標額2万4千円達成を図る。10月の米山月間に米山奨学生を招き卓話を実施。

クラブラーニングファシリテーター 多田 慶一郎

ロータリー活動についての理解を各会員に深める。

炉辺会議を開催。新会員および年数の浅い会員のためのセミナーを開催し、クラブの規則、RI、地区、クラブの構成や仕組みについて理解を深める。

松田ガバナー補佐講評

第1グループの7つのクラブの会費はほとんど20万円前後であり、会費値上げが難しい時代。

財団の180ドルの目標は強制的な側面があり、未達成クラブの報告が頻繁にある。会費以外で財団資金を集めるクラブが多い。

継続事業への財団補助金は3年連続が原則だが、内容によっては何年でも通る。補助金は不足気味でカットされることもあるが、今年度はほとんど通っており、継続事業でも積極的に申請することが推奨される。